

まなびの輪 ～大洗における多文化共生～

教育・研究

ボランティア

課外活動

地域交流

国際交流

代表者：人文学部人文コミュニケーション学科 3年 村上 柚香里

連携先

大洗町役場 まちづくり推進課
大洗町立大洗小学校

ン学科 2年)

菊地 唯 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)

倉持 ゆり (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)

後藤 睦貴 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)

沢 栞里 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)

高田 美菜 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)

吉田 風音 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)

飛田宗一郎 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)

顧問教員

横溝 環 (人文社会科学部・准教授)

参加者

木下絵美梨 (人文学部人文コミュニケーション学科 4年)

飯塚子都香 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

井口 葵 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

稲見 知聡 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

大門 勇登 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

丸山 裕香 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

村上柚香里 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

村本沙織里 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

森井 美桜 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

渡邊 駿平 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

綿引 千晴 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

小栗 和花 (人文学部人文コミュニケーション学科 3年)

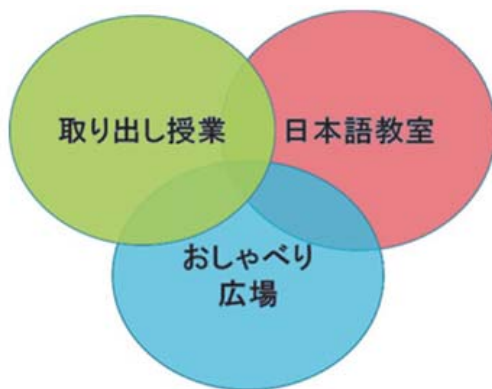
プロジェクトの概要

本プロジェクトは、大洗町役場・大洗小学校・ボランティアの方々と連携し、大洗町在住外国人の日本語コミュニケーション能力の向上および多文化共生のまちづくりの推進を目的としている。

今年度は、これまでに引き続き、①大洗町在住外国人が日本語を学習できる場を設けること、②外国人同士・外国人と日本人の関係構築のきっかけとなる場を設けること、③外国にルーツを持つ子どもたちの学習をサポートすること、の3点を目標とした。加えて、④大洗町の事例を通して日本国内における国際化について多くの方々に知ってもらい、多文化共生への関心を促すこと、を新たな目標

とした。

活動内容は、大洗町在住外国人が日本語を学習できる「日本語教室」の開催、外国にルーツを持つ子どもの学習をサポートする「取り出し授業」への参加、日本語教室に参加したことがなくても気軽に参加できる「おしゃべり広場」の開催の3つを軸とする。今年度はこれらの活動に加えて、「外国人へのインタビュー」「大洗町民へのアンケート調査」「インタビュー・アンケートに基づく展示」を行なった。



プロジェクトの成果報告

(1) 日本語教室の開催

日本語教室は、外国人が日本語を学習できる場として、月に2回、第2・第4水曜日（18:30～20:00）に大洗町役場の会議室で開催している。学習者のニーズをもとに、個々の目標に沿った学習サポートを、地域の日本人ボランティアと共に実施している。

日本語教室では、日本人1人につき学習者1人～複数人の学習をサポートしている。担当者が変わる際、次回担当者へ学習内容の引き継ぎをする必要がある。そこで、今年度から、学習者1人1冊ノートを作り、日本語教室終了時に学習内容などを記録している。

継続して参加している学習者やボランティアから関係がひろがり、新たな外国人も参加するようになった。



日本語教室の様子

(2) 取り出し授業への参加

大洗小学校では、外国にルーツを持つ子どもを対象に、日本語を補いながら教科学習をする「取り出し授業」が実施されている。

私たちは、前期週3日、後期週2日、取り出し授業に「日本語サポーター」として参加し、外国にルーツを持つ子どもの教科学習や日本語学習のサポートを行っている。

私たちが参加することで、児童一人ひとりがより密度の高い学習をすることができた。また、私たちの参加を楽しみにしている児童もあり、私たちの活動が、児童の学習に対するモチベーションを高めるきっかけとなったことも大きな成果といえる。

継続して参加することで、少しずつ児童や小学校の先生方との関係を築くことができた。

(3) おしゃべり広場

気軽に参加でき、外国人同士や外国人と日本人の関係構築のきっかけとなるおしゃべり広場は、今年度は2回開催した。

1回目は、12月にクリスマスパーティーを開催し、子どもから大人まで参加できるゲームをした。また、外国人や日本人ボランティアが、自分で作った料理やお菓子を持ってきてくださった。



クリスマスパーティーの様子

2回目は、2月に開催した。参加者がそれぞれ音楽やダンスを披露したり、皆で簡単なダンスに挑戦したりした。参加者の発表を通して、普段の日本語教室などでは見られない新たな一面を知ることができた。また、初めて参加してくださる方もいた。その他にも、ジェスチャーゲームを行い、皆で楽しむことができた。



2月開催 おしゃべり広場

(4) 外国人へのインタビュー

普段日本語教室などに参加している外国人が、日本でどのような生活を送っているのか、また、日本での生活にどのような想いを抱いているのかを知るため、12月にインタビューを行った。インタビュー協力者は、普段日本語教室に参加している5名の外国人である。

インタビューを実施する前に、協力者にそれぞれの日常生活をビデオで撮影してもらい、

私たちはその映像を見てから、インタビューをした。

インタビューを通して、外国人の日本での日常や日本での生活に対する想い、どのように日本でコミュニティに入っていったのかなどを聞くことができた。



インタビューの様子

(5) 大洗町民へのアンケート調査

外国人へのインタビューを通して、外国人の日本での生活に対する想いを知った私たちは、日本人の声も聴いてみたいと感じた。そこで、大洗町に住む日本人が、大洗在住の外国人にどのような印象を持っているのかを知るために、12月にアンケート調査を実施した。スーパーの買い物客や商店街の店主など、計198名の協力者からアンケートの回答を得た。

その結果から、普段あいさつを交わす外国人がいる人は、外国人に対してポジティブな印象を抱いている人が多いということなどが分かった。

また、アンケート調査のなかで、町民の方々の実際の経験を直接伺うことができた。

(6) インタビュー・アンケートに基づく展示

上記のインタビューやアンケートから見えてきたことを紹介する展示を、茨城大学図書館展示室で2月1日から17日まで実施した。



展示の様子



展示のポスター

外国人の生活や日本での体験について知ってもらうため、インタビューやアンケートの結果に加えて、外国人の方々がこれまでに日本で撮影した写真を提供してもらい、展示した。

日本国内における国際化について多くの方々に知ってもらい、多文化共生について考えてもらいたい、という思いではじめた展示であったが、準備をするなかで、誰よりも私たち自身が、大洗に住む外国人や日本人、多

文化共生について考える機会となった。

(7) その他の活動

その他の活動として、大洗町の行事である八朔祭、盆踊りの夕べ、スポーツフェスティバルに参加し、食べ物を販売する手伝いなどをした。



八朔祭の様子

また、日本語教室で活動するボランティア向けの講座を開催した。そこでは、日本語教室の運営についてボランティアと話し合った。

日本語教室に参加しているインドネシア出身の方に、彼らが通う教会のパーティーに招待されることもあった。外国人のコミュニティに迎え入れてもらい、普段私たちがみている姿とは違う、外国人のコミュニティのなかにいる姿をみることができた。

(8) 茨城県国際化推進奨励賞受賞

大洗町国際交流協会の推薦により、平成29年度茨城県国際化推進奨励賞を受賞することができた。表彰式に出席し、表彰状を頂いた。これまで携わってくださったすべての方々のおかげでここまで来ることができたと私たちは思っている。



表彰式の様子



表彰状

また、表彰式について、茨城新聞に取り上げて頂いた。

(9) 全体の成果と今後の課題

全体の成果として、第一に、これまでの活動にボランティアが継続して、積極的に参加してくださっている。私たちの活動は、将来的には大洗町住民が主体となって継続されることを目標としている。そのためにも、現段階で、私たちの活動に地域のボランティアが積極的に参加してくださることは、非常に大きな意味がある。今年度は、先述の通り、ボランティア向けの講座のなかで、日本語教室の運営についてディスカッションを行った。このディスカッションも、ボランティアと私たち、また、ボランティア同士の関係を深めることにつながったと考えられる。

第二に、インタビューやアンケート、それ

らに基づく展示をすることで、より多くの日本人に、大洗町における国際化について知ってもらい、多文化共生について考えてもらうきっかけをつくることができた。また、私たち自身が改めて大洗町の外国人や日本人、多文化共生について考える機会になった。

今後の課題として、日本語教室においては、学習内容引き継ぎのためのノートをより効果的に利用する方法を考え実施すること、日本語能力検定を受験する学習者が増えてきたため、私たちが対応できるようにすることが挙げられる。全体としては、今回のインタビュー・アンケート調査でみえてきたニーズに大洗町の外国人や日本人とともに応えていくことが挙げられる。

今後も、大洗町の人々との関係を大切にしながら、継続して活動に励んでいきたい。